担当者スポット



千葉のゆるキャラの原型?

教育研修部　北田　博雄
Hiroo KITADA

千葉県OBの北田です。
昨年4月から、センターにお世話になって1年半が経ちました。
日本には昔から八百万(やおよろず)の神がいると言われています。
それに負けないくらいの“ゆるキャラ”が全国に続々と生まれています。
まさに“ゆるキャラブーム”です。
そんな中、千葉県には“チーバくん”と言うマスコットがいます。
一説には、私に赤ペンキを塗り、横向きにさせたのが“チーバくん”の原型であるという噂もありますが、しっかりとした有名デザイナーによる作品だそうです。
小さな子供たちに大変人気がありますが、今となっては非公認キャラクターの“ふな○シー ”の方が有名になってしまいました。
“チーバくん”の着ぐるみもありますが、横に大きめな私などは着ることができませんので、その際には、私に、赤ペンキを塗ればすぐに“チーバくん”の着ぐるみが完成するとも言われています。
“チーバくん”と一心同体の私ではありますが、千葉県の房総半島のほぼ真ん中で生まれました。
現在、センターのある麹町まで片道2時間以上の長距離通勤をしています。
この仕事を“あと何年できるかな? ”と思いつつ、今日も“チーバくん”のピンバッジを襟につけて、全国を飛び回っています。
※“チーバくん”に興味のある方はネットで実物を探してみてください。

編集後記

秋号では、「行政のうごき」で岡山県における電子マニフェストの取組をご執筆いただきました。岡山県では、「グリーン調達ガイドライン」において、県が産業廃棄物を処理委託する場合は電子マニフェストを利用するよう規定する等、電子マニフェスト普及に向けた各種の施策に取り組まれています。

電子マニフェストの「ユーザ事例紹介」は“大阪湾広域臨海環境整備センター ”の桝様にご執筆いただきました。長年、電子マニフェストをご利用いただいており、その中で培った電子マニフェストの運用方法を今回、ご紹介いただいています。

「産廃クローズアップ」は“株式会社バイオマスパワーしずくいし”にお伺いし、取材させていただきました。同施設には、毎年約500人の方が見学に訪れているそうです。今回の記事をご覧いただき、興味を持たれた方は是非、施設見学をされてみてはいかがでしょうか。

お忙しい中、記事をお寄せいただいた執筆者の皆様、取材や編集発行に御尽力いただいた皆様、本誌を読んでくださった読者の皆様に、心から感謝申し上げます。　(藤原)

本誌に関する連絡先：総務部広報室　e-mail:jigyo@jwnet.or.jp

【アンケートへのご協力のお願い】
より充実した誌面作りのために、本誌の記事内容等に関する読者アンケートを当センターホームページ（以下のURL）に掲載しています。本誌に関するご意見・ご要望を是非、お聞かせください。
URL http://www.jwnet.or.jp/publish/kikansi/index.html

日廃振センター情報(季刊) VOL.15 NO.3　発行日：平成27年10月15日発行　発行人：岡澤和好
発行所：公益財団法人　日本産業廃棄物処理振興センター
〒102-0084　東京都千代田区二番町3番地 麹町スクエア7階
TEL：03-5275-7111　FAX：03-5275-7112　http://www.jwnet.or.jp/
デザイン・印刷　株式会社ぎょうせい